

次世代物流システム構築シンポジウム発表資料
「京都・伏見におけるコンテナラウンドユースの取組み」



ケービーエスクボタ株式会社
船積センターチーム長
石田 則幸

- 本社 大阪市浪速区敷津東1-2-47
- 設立 1978年（昭和53年）
- 資本金 7,500万円
- 売上高 220億4千万円（平成26年3月期）
- 従業員数 208名（平成28年1月1日現在）
- 事業内容
 - (1) 倉庫業
 - (2) 貨物利用運送業
 - (3) 加工業並びに梱包業
 - (4) 運送に関する物品販売業
 - (5) 不動産の賃貸並びに管理

1：企業の事業活動として

(1) コスト削減

輸出企業/輸入企業/海貨業者/陸送業者のWin/Winな関係

(2) 荷役作業の定時率向上

2：CSR活動として

(1) CO2削減

(2) 主要港の抱える問題解決

-> CY・周辺道路の混雑緩和

-> コンテナの搬出入数を削減（空コンテナ）

(3) 運送会社支援（事業/雇用確保、運転手労働状況改善）

ラウンドユースの 課題と問題点の解消

メーカー単独もしくはフォワーダー単
独でR/Uが出来ない？

自社の輸入と輸出のマッ
チングを検討してみる？

自社内で新たな
選任担当や調整
業務が発生し煩
雑？

そもそも輸入と
輸出のバランス
も船会社も違
う？

KBSクボタの課題解決でFtoFによる専門的
な課題解決と運用が実現出来る！！

各社の輸入情報と輸出情報を
顔の見えるラウンドユースと
してコーディネート

各社のニーズに対
応するオペレー
ションを提案

トライアルを通し
て実際の運用を開
始！！

ラウンドユースの オペレーションイメージ

・通常のフレイジ手配

・オン・シャーシ方式によるラウンドユース

・ICTを活用したラウンドユース

2015年9月まではオン・シャーシ方式によるラウンドユースのみを実施

2015年10月からは伏見デポ（内陸ICT）活用をしたラウンドユースも実施

コンテナ載せ替え



（内陸コンテナターミナル）



輸出者

倉庫



コンテナヤード

コンテナヤード

ヤード

・輸入の空VAN返却(復路)・輸出の空VAN PICK(往路)何れかが、必ず空回送となる。

・輸入者・輸出者の起用船社・コンテナサイズの統一。
・作業日程の調整が困難である。
・輸入者・輸出者の責任範囲が不明瞭。

・輸入者・輸出者の起用船社・コンテナサイズの統一。
・マッチング・コーディネートが必要。
・作業日程の調整に融通が利く。
・輸入者・輸出者の責任範囲が明確となる。

ラウンドユース実績 (実際の事例)

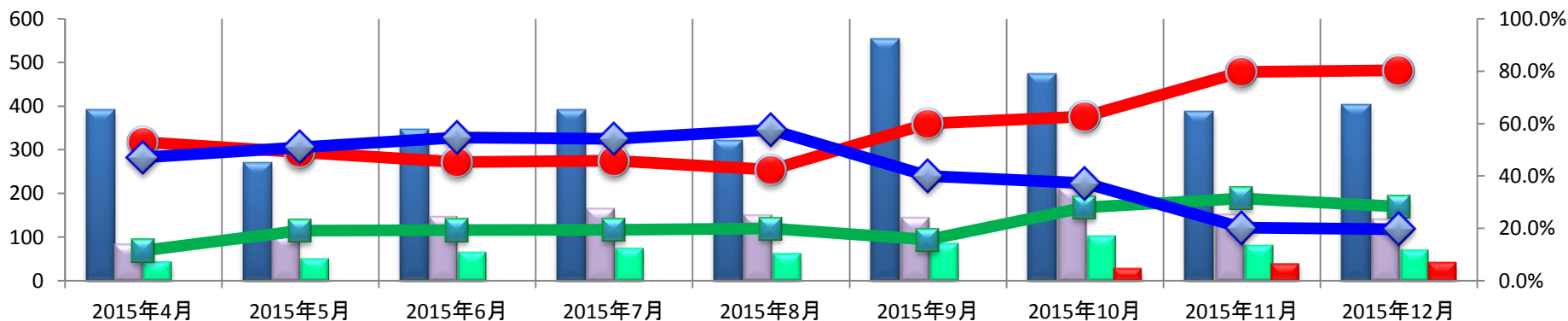
2015年4月から12月までのクボタ枚方製造所輸出建設機械とのラウンドユース実績データ

(単位：FEU)

項目	2015年4月	2015年5月	2015年6月	2015年7月	2015年8月	2015年9月	2015年10月	2015年11月	2015年12月
クボタ輸出コンテナ本数	391	271	347	391	321	555	475	388	403
パートナー企業輸入コンテナ本数	85	106	148	166	151	145	212	153	142
ラウンドユース本数	45	52	67	76	64	87	104	83	72
伏見デポユース本数	0	0	0	0	0	0	29	39	42
対輸出のHIT率(R/U+D/U)	11.5%	19.2%	19.3%	19.4%	19.9%	15.7%	28.0%	31.4%	28.3%
輸入CNTR使用率(R/U+D/U)	52.9%	49.1%	45.3%	45.8%	42.4%	60.0%	62.7%	79.7%	80.3%
アンマッチ率	47.1%	50.9%	54.7%	54.2%	57.6%	40.0%	37.3%	20.3%	19.7%
アンマッチ本数	40	54	81	90	87	58	79	31	28

(FEU)

ラウンドユース本数の推移



■ クボタ輸出コンテナ本数

■ パートナー企業輸入コンテナ本数

■ ラウンドユース本数

■ 伏見デポユース本数

■ 対輸出のHIT率(R/U+D/U)

■ 輸入CNTR使用率(R/U+D/U)

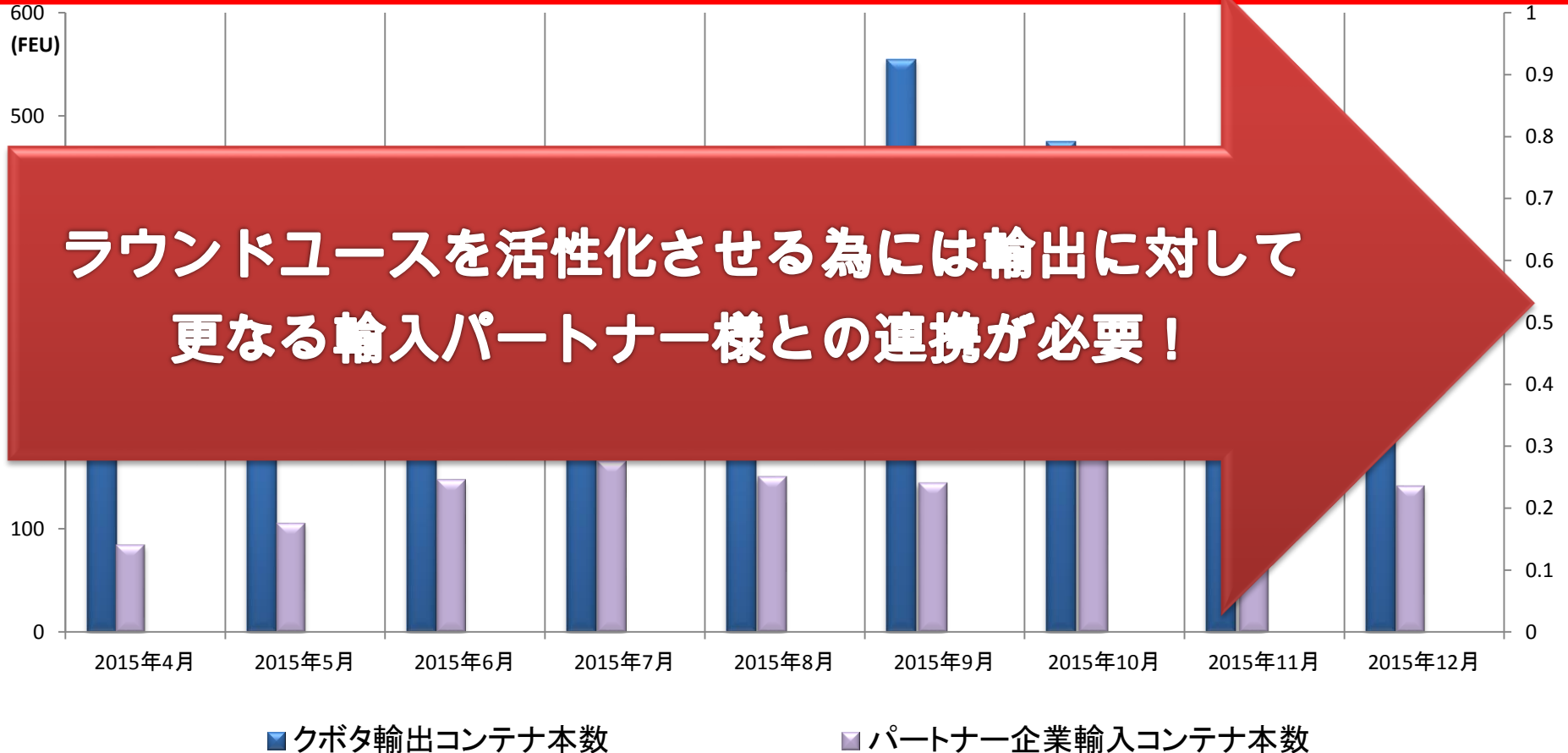
■ アンマッチ率

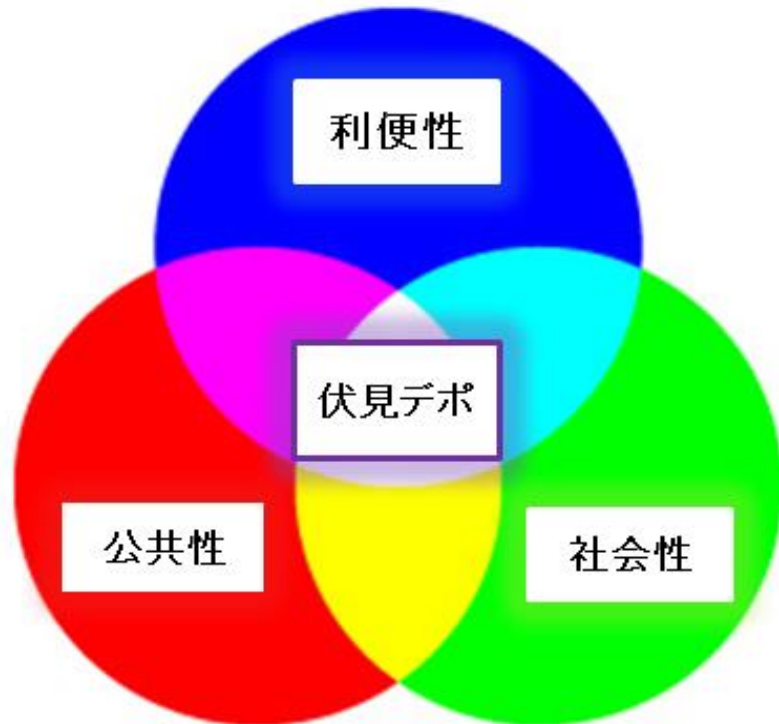
実例から見た現時点の課題

2015年4月から12月までのクボタ枚方製造所輸出建設機械とのラウンドユース実績データ

(単位：FEU)

項目	2015年4月	2015年5月	2015年6月	2015年7月	2015年8月	2015年9月	2015年10月	2015年11月	2015年12月
クボタ輸出コンテナ本数	391	271	347	391	321	555	475	388	403
パートナー企業輸入コンテナ本数	85	106	148	166	151	145	212	153	142





(a) 利便性

- 荷主の輸送コスト削減やリードタイム短縮など輸出入における海上コンテナ輸送の効率化を図る。
- 輸出貨物を集めることで物流のロジスティクス機能を強化する（輸出バンニング・国内配送）。
- 輸出入の海上コンテナ輸送を同一車両が行う事で運送事業者の収益向上を目指す。

(b) 公共性

- 滋賀・京都・大阪北部など広域でコンテナマッチングを実施し、より多くの荷主にメリットを提供する。
- ラウンドユースを基調とした次世代物流の新しいビジネスモデルの創出。

(c) 社会性

- ラウンドユースにより総走行距離を短縮し、CO2排出量の削減など地球環境の改善に貢献する。
- ドライバー減少による車両の確保に寄与する。
- 港湾地区・高速道路に於ける渋滞の緩和に貢献。



-→2013年度にKBSクボタ運営のつくばICT（茨城県つくば市）で
グリーン物流優良事業者表彰において、
共同事業体 22事業者と「**経済産業大臣表彰**」を受賞

-→2016年2月に（公社）関西経済連合会殿をはじめとする
「産・学・官」が一体となった国際物流戦略チームに
「**関西総合物流活性化モデル認定事業**」として認定を受けました。

ご清聴ありがとうございました！



For Earth, For Life
Kubota